

平成30年度 長崎市提案型協働事業 2次審査会・中間報告会 結果一覧

		2次審査	2次審査	2次審査	2次審査	中間報告	中間報告
種別		行政提案型	市民提案型	市民提案型	市民提案型	市民提案型	行政提案型
団体名		DEJIMA BASE	モッシュ Moshyw (もうセクハラを許さない 女たちの会・ながさき)	とらねこ文庫	NPO法人ながさきエコネット	アスレティックトレーナー 長崎県協議会	MODAL
担当課		出島復元整備室	学校教育課	市立図書館	農林振興課	健康教育課	観光推進課
事業名		出島表門橋公園の賑わい創出に向けた社会実験実施事業	スクール・セクハラ防止啓発事業	絵本で子育て応援 “おひざで絵本”事業	茂木南部地区における市民も参加 できる営農環境の保全事業	アスレティックトレーナーによる こどもの体力向上事業	共通言語「マンガ」で相互理解、 外国人観光客トラブル防止事業
事業費総額(円)		1,100,000	788,000	995,000	990,500	800,000	1,007,000
(市負担額)		1,000,000	758,000	995,000	981,500	640,000	1,007,000
審査項目	配点	各審査項目における平均点	各審査項目における平均点	各審査項目における平均点	各審査項目における平均点	各審査項目における平均点	各審査項目における平均点
①	事業の目的	10	8.0	8.3	8.0	7.7	
②	事業の実現性	15	12.0	12.0	10.5	10.5	
③	協働の役割分担	5	4.0	3.7	3.7	3.3	
④	協働による効果	15	10.5	12.0	11.5	10.5	
⑤	費用の妥当性	5	3.3	3.3	3.2	3.5	
合計点(点)		50	37.8	39.3	36.9	35.5	
得点率(%)		100	75.6%	78.6%	73.8%	71.0%	
審査結果		採択	採択	採択	採択	審査対象外	審査対象外
審査会コメント		自発的に出島表門橋公園を利活用する 担い手づくりを行う本事業は、公共空 間をどう使うかという非常に大きな問 題に対する取組みといえる。 プレゼンでは、事業の具体的なイメ ージを、はっきり持っているという印象 を受けた。 また、事業が終わっても担い手が生ま れていく環境づくりであるという継続 性も評価できる。 担い手となるということが重要である ことから、本事業で出来ることと出来 ないことを見極め、誰もがみな使える ということを広めていただきたい。 そのためにも、担い手が、ルールに基 づいて公園を使いやすくなるような ルールブックを、報告書というもので もよいので、事業の成果として作り、 きちんと公にしていきたい。	昨今、ハラスメント全般が問題になっ ている中で、スクールセクハラ防止の 取組は、子どもの人権、権利を守るも のとして評価でき、協働事業で実施す る必要性が理解できた。 本事業をきっかけに教職員の適切な指 導につながり、高校等での取組み や、他のハラスメントへの関心も広が ると感じるため、ぜひ、計画的に実行 していただきたい。 また、次年度以降については、研修の 拡大充実など、より事業の実効性を高 めるための事業展開を図るよう検討し ていただきたい。	本市の中心部以外に出向いて読み聞か せを行う本事業は、団体と行政の役割 分担が明確で、お互いに足りないもの を補い、お互いの力を出し合えるとい う点で、協働で実施する必要性が、十 分理解できた。 事業調整期間の中で、ブックリストの 配布については、大きなイベントを止 めて、しっかり丁寧に伝えていくとい う方向に改めた点は、評価できる。 今後、活動を維持していくため、コス ト面からの検討は必要な要素であるの で、将来的に団体がどのように事業展 開していくのか、また、活動を広げる 可能性としてどのような方法があるの か、事業終了後の活動を視野に入れな がら取り組んでいただきたい。	茂木南部地区(大崎集落)において、 日本一のびわ産地を維持するために取 組むという、事業の必要性について は、十分理解できるとともに共感でき る。 しかしながら、団体と担当課との役割 分担や、1つ1つの事業が事業全体で どう繋がるのかという部分が抽象的 で、具体的に目標とする成果の姿が不 明瞭であると感じられる。 実施に当たっては、具体的なものに詰 めていただき、団体と行政のほか地域 の方たちや関係する団体とも目的を共 有して、事業を進めるプロセスのなか で、関係性をつくりながら取り組んで いただきたい。 長崎における日本一のびわ産地を維持 するために、まずは、地域の特性に合 う形での人の交流と農地保全のスキ ームを確立し、今後の持続的活動を担 う主体となる組織をしっかりと構築して いただきたい。	子ども達が楽しくできるような音楽を取 り入れたり、自主的にできるようなク リアフォルダーの内容を見直すなど、協 働事業を進めていく中で改善を図っ ており、事業に対する前向きな姿勢が見 られ評価できる。 ストレッチによって柔軟性が向上する ことを通じて、「子どもの健康増進、 体力の維持向上」につながるというこ とを、柔軟性の向上についての数值的 な結果とあわせて、ケガの予防につな がったとか、その他に波及している効 果について事業を行う中で改めて整理 し、説明していただくことを期待す る。 今後も引き続き、改善を行いながら、 より良い活動となるよう事業を進めて いただきたい。	お互いの特性を認め、それぞれが持つ ていない感性を生かして一つのことを 成し遂げられようとしていることが見 られ評価できる。 外国人観光客のトラブル防止、相互理 解を促進するための表現ツールとして 「マンガ」に着目した点が、本事業の ポイントであるが、マンガの表現内容 やストーリーについて、文化の違いを 正しく伝えるために、誤解が生じるこ とのないよう、担当課と団体で十分に 協議して制作していただきたい。 また、本事業は、その他の国を対象に したり、別のトラブルについて取り組 んだりするなど、今後の活動が広がる 可能性が大いに期待されることから、 成果の効果検証については、アンケ ート内容や検証方法などを精査し、効果 の分析にも注力していただきたい。